

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

2015年8月1日発行  
NO.422



AUGUST

8

**特集** がんに克つ! ①

# 胃がん P-1



- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 血液内科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 臨床検査技師 P-6

## 病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

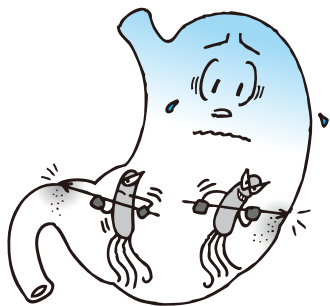
総合病院 聖隷浜松病院

# 胃がん

日本人の2人に1人が、一生のうち一度はなるといわれている『がん』。今回から始まるシリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

## ○どうして胃がんになるの?

胃がんは胃の粘膜にがん細胞が発生して増殖する病気で、初期には無症状ですが、進行して腫瘤や潰瘍を作ると胃もたれなどの症状や出血による貧血を引き起こし



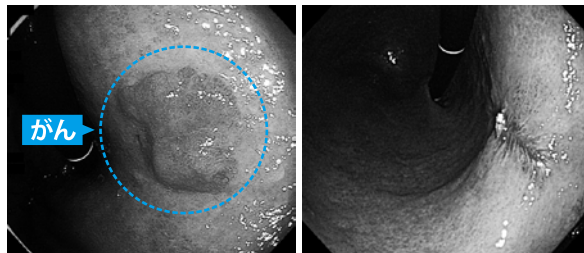
ます。胃の粘膜にがんが発生する原因のほとんどは胃に住みつくピロリ菌です。ピロリ菌は5歳頃までの幼少時に水などの環境や家族から感染すると胃に住み続け胃炎を生じ、数十年にわたり粘膜を荒らしてがんが発生します。

日本人では40歳以上でピロリ菌感染が多く、胃がん

にかかる人も多くなります。上下水道の整備で環境が良くなり若い人のピロリ菌感染率が下がっていますが、既にピロリ菌が住み続けている胃でも除菌治療をすることで胃がん発生の危険を下げられるため、除菌治療が広く行われています。

## ○どんな治療があるの?

胃がんは粘膜の中だけの早期の段階であれば内視鏡で粘膜をはぎとる治療で治すことができ、胃を切る必要がありません。内視鏡での胃がん検診の普及により早期に発見できて内視鏡治療で治ってしまう人が増えています。胃がんが粘膜下、さらに筋層に達する場合や、胃の近くのリンパ節に転移している場合は外科手術が必要になり、胃の周囲のリンパ節と一緒に胃を3分の2ないしは全部切除します。最近では腹腔鏡を用いる手術も選べ、体の負担が少なくなりました。胃がんの発見時に肝臓などに転移を認める場合は、抗がん剤治療を実施します。



▲切除前

▲切除後

## ○生活習慣の**注意点**は？

胃の内視鏡検査でピロリ菌と病気の有無を調べ、菌が陽性なら除菌することが大切です。一度除菌できれば現在の日本では再感染はまれですが、ピロリ菌がいなくなっても胃がん発生の危険はゼロにはならないため、年に1回の内視鏡検査を受け続けることが



必要です。食事の塩分摂取が多い人や喫煙する人は胃がん発生の危険が高く、緑黄色野菜や果物でビタミンを十分にとると危険が低くなります。

内視鏡で治療できる段階であれば命にかかわることはほとんどありませんが、粘膜の下まで

及び胃がんでもリンパ節転移のない段階であれば外科手術で5年生存率は90%以上とされています。胃がんの診断・治療ともに日本は世界で最も進歩した国です。ぜひ検診を受けて早期に発見するよう心掛けてください。特にご家族に胃がんの方がおられる場合は、ご家族皆で内視鏡検査をうけてピロリ菌の有無を調べることをおすすめします。

文責：消化器内科 佐藤 嘉彦

**がんに克つ!②は「乳がん」です。(2015年11月号に掲載予定)**

インフォメーション

第46回 病院学会

聖隷浜松病院

# 市民健康セミナー

輝くシニアライフ!

「見えない」「聞こえない」「歩けない」を  
予防していつまでも健やかに!

入場  
無料

予約不要

日時 9/27日 13:30~16:30

会場 えんてつホール  
(遠鉄百貨店 新館3階)

### 主なプログラム

- ◆「見えない」「聞こえない」「歩けない」の予防に役立つ専門医の講演
- ◆視力・聴力・骨密度測定などの体験コーナー

詳細は9月号でお伝えします!

新任  
医師紹介



放射線科

さとう ゆう  
佐藤 悠

京都府立医科大学 (2009年卒)

## 血液内科



▲血液内科病棟スタッフ

## 患者さんと共に歩む医療を目指して

当院では、血液内科の診療をしばらく休診していましたが、この4月から体制を整備して新たに診療をスタートしました。

血液内科は、血液の病気を診断・治療する専門科です。血液の病気には良性の病気から、白血病や悪性リンパ腫といった「血液がん」まで様々な病気があります。私たちはそのような血液の病気を的確に診断し適切な治療をする専門家です。血液の病気と言われても馴染みが薄い方が多いので、患者さんにはまず、今の病状、どのような病気が疑われて、どのような検査が必要なのかお話しします。病気の診断がつけばそれがどのような病気なのか、治療が必要なのかどうか、治療にはどのような選択肢があるのかを詳しくご説明して、患者さんと共に病気に対峙し、方針を決めて、共に歩んでいくことを目指します。患者さんのみなさん、医療関係者のみなさん、どうぞお気軽にご相談ください。

文責：血液内科 中田 匡信(写真 前列左端)

診療を支える  
スペシャリスト

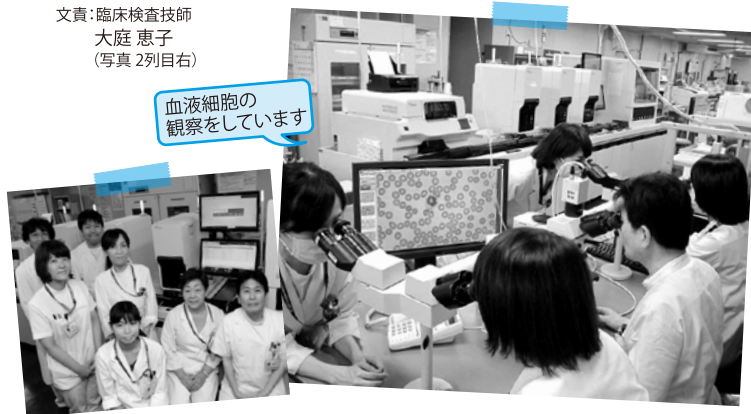
## 臨床検査技師

「血液検査から  
より多くの情報を迅速に提供します」

臨床検査部 血液検査部門では、貧血の検査をはじめ、全身に酸素を運搬する赤血球、生体の感染防御として働く白血球、止血に重要な役割をする血小板の数や機能に異常がないかを検査したり、顕微鏡で血液細胞に形態異常がないか確認を行っています。また、血栓など血の固まりやすさや、血を止める機能に異常がないか病態診断に必要な検査データを提示しています。

認定血液検査技師も在籍しており、より専門性を高めると共に精度の高い検査結果を患者さんの診断や治療に役立つよう迅速に臨床に提供し、病気の早期発見、早期治療のため医療に貢献していきます。

文責：臨床検査技師  
大庭 恵子  
(写真 2列目右)





# 聖隷浜松病院からのお知らせ

## 初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時選定療養費として3,240円を別途ご負担いただいています。

当院は、地域医療支援病院として急性期医療を担い、「かかりつけ医(診療所等)」と役割を分担する病診連携を推進しています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

また予約時には、症状や診療科の確認等が必要となることがあります。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801  
(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

## 再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜13:00～16:45)

## 面会の方へ

面会時間…(月～土曜) 14:00～20:00、(日曜・祝日) 10:00～20:00

- 産科・小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。  
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証  
日本医療機能評価機構認定  
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



医療の品質改善受賞病院



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222  
発行責任者 病院長 鳥居 裕一